

「未来に伝える山形の宝」事業

＝氷河期の埋没林保存活動フォーラム＝

アンケート結果

1, あなたについて教えてください。(回答 34 人)

☆ お住まいは ア 南山形地区内 29 人

(黒沢 2、松原 3、駅前 1、片谷地 3、谷柏 5、津金沢 2
南山形住宅 3、蔵王第二 4、新南 2、市営 2、他 2)

イ 南山形地区外 5人

(桜田西 1、城西 1、平清水 1、天童市 1、他 1)

☆ 性別は ア 男性 29人 イ 女性 6人

☆ 年 齢 は ア 20代 1人 イ 30代 0人 ウ 40代 1人
 エ 50代 1人 オ 60代 12人 カ 70代 18人
 キ 80代以上 2人

2, 本日の催しを何でお知りになりましたか。(複数回答)

ア 講演会チラシ 14 人

イ 人から聞いて 7 人

ウ コミセンだより 18人

エ ホームページ 0人

オ その他 4人（山形新聞、スタッフ）

3, 内容の感想、ご要望等あれば何でもお書き下さい。

- ・考えれば考えるほど難しくなる。何から手をつければいいのかを、早急に話し合う必要があるのではないか。川であることからすれば、現地でのミュージアム的なものは無理ではないか。山野井先生の話のように、1本を掘り出して保存する道しかないのでは。
- ・ガラスケース展示・・・現地にジオラマにしてガラスケースに展示しておくことが最良の方法だと思う。津金沢の大杉を初めとして各所の名所を巡るコースを作って大高中小の学生の授業の一環として巡るようにしてみたらと思います。
- ・河川に携わりながら、この問題について見逃したように見えるので、非常に残念です。
- ・方向性がまとまって良かったと思います。河川の中にあり、いずれは消失してしまう資産であり、評価は後世にゆだねるにしても、掘り上げ保存すべきと思います。
- ・地区民多数の参加で保存を討論できたのはよかった。さらに盛り上げ行政を基本的に動かすべき（予算化）

- ・今回はじめて参加し、埋没林というものをはじめて知りました。十数年前にくらべて埋没林の木の本数がかなり減っているということにおどろきました。なるべくはやく川からいくつか木を抜き取り保存処理を行うべきではないかと思いました。地域の宝としての活用といった議論はまず保存をしっかり行ってからではないかと思います。ただし、川に残した木の保存については、はやく結論を出すべきだと思います。
- ・化石木の数が少なくなっているため、典型と見られる埋木一本だけでも掘り出して、行政と協議し保存展示を準備してほしい。急がねばならないと思います。
- ・掘り起こし⇒展示だけでなく、その先どう動かすかを考えていかなければならない。ということを考えさせられた。その部分は、これからもっと充実した議論をして、豊かにしていければと思う。
- ・山野井先生のお話は体系的に年代的に説明され埋没林の現状が理解できました。地域の保存対応と対策は「宝」として取り組んだ情熱と努力に敬意を表したい。今後は「保存」の在り方を主体に考える、切り替える代になった。この保存が実現しなければ、今日までの結果が表れないことになるだろう。
- ・地区のなりたちなど小学校教員に対する副読本作成などの活動を提起してもらいたい。
- ・これまでのシンポジウムでも提案させていただいていますが、大学、河川の検討により河川での保護をできればと思います。
 - ① 埋没林の根本を守るための堤防を作ることが必要と思います。
 - ② 上流からの岩石が流下しないようにすることが必要と思います。
 ※これらを守るための堤防が下流の埋没林の河床を下げています。
- ・現状では保存は不可能です。異常気象では数年で本当に埋没してなくなります。早急に発掘して、発掘した埋没林の保存方法を早く検討して実施することです。私こと9年間山形城発掘調査作業に従事した経験から提案します。早く急いでください。数年後にはなくなります。
- ・埋没林の発掘が少しでも早くでき、なかなかむずかしいことですが、保存できるようにになればと思います。地元の熱意が伝わるよう、住民の署名を集めてみてはどうでしょうか。
- ・貴重なお話を大変ありがとうございました。時間が足りなかったようです。
(勝手なことを申し訳ございません) 片谷地の小笠原さんの意見は？に思いました。埋没林のみを、もう少し大事に考え貫きたい。
- ・あらためて地域の宝であると認識しました。是非今後への保存を考えてもらいたい。関係者の意見等、複数回ありましたが、これらを参考にして下さい。川の中の保存は非常にむずかしいと思われます。他の方法等考えてくださるとよいと思う。

- ・保存第一、未来に届けるため頑張ろう。
- ・ていねいに話あい、具体的な作業、学習連携、続けてこられたのが、よくわかりました。保存とその考え方、災害対策、環境整備と自然の維持とのかねあい、薬品など環境への汚染を避けるなどもあわせて、考えて進めていけるといいなと思います。
- ・地区の宝、その意味、意義について十分理解できた。地区の方々のご苦労も分かった。是非保存していただきたいと思いました。埋没林の現状からしても、緊急な課題。
- ・まだ、皆の考えが1つにまとまっていない。最後の話、須藤善友さんの話に賛成です。
- ・行政に思いを伝え協力をもらうのは当然だが、何より地域主体で動かなければならないと思う。具体的に目標を掲げて、行動、実行に結びつくように祈ります。地区民の理解を最優先に、地域から盛り上げていければ・・・。
委員会の今後に期待しています。
- ・南山形地域の貴重な宝埋没林発掘と保存するにあたり、具体的な提案なり、お話を伺い、現実的に実現可能なことである、大変有意義なフォーラムでした。地域の一員として、みなさんにもお話をしていきたいと思います。地域の盛り上がりもとっても大切だと思います。
- ・地域の人話はまとまりがなく、長くダラダラ。必要ない話ばかりで、本節からだいぶ離れている。フォーラムの仕組みに再考したらどうか。
- ・これからは、保存をどうするかを検討している時期かと思う。
- ・時間の経過とともに、埋没林は年々減少している。宝には違いないが仙台・島根・魚津と比べても、埋没林の規模が小さい。保存が決まった時点では、埋没林は消滅しているのではないかと。発見当初は40本あったのが、現在では数える程しかない状態になっている。技術的にも困難な印象がある。「須川氷河期埋没林対策委員会」令和元年5月9日設立している。運動の進捗状況が遅い感じがします。2003年埋没林が発見されてから16年が経過しています。ギロンはもう終わりです。
- ・大変有意義なフォーラムになりました。これまで10年以上保存に向けて議論してきましたが、掘り出し保存に向けて行政への大きなステップだったと思います。是非早期に現実ジオラマ等の併設を願うものです。
- ・皆さんの熱意を感じられた。
- ・大事さがよくわかりました。
- ・大変良かったでした。是非早急に保存しましょう。